

平成30年度教育委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針		平成30年度重点取組					
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革	1	新しい学習指導要領の中核の理念である「社会に開かれた教育課程」を踏まえた、保護者・地域が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置拡大	・学校運営協議会の更なる活動充実と先進的な取組事例の発信 ・中学校単位に加え、中学校区における小中合同での設置拡大	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・245校（幼15園、小159校、中56校、小中6校、高1校、総8校）に学校運営協議会を設置（市区村別設置数は全国最多） ・34中学校区において、小中合同による学校運営協議会を設置 ・研修会やコミュニティ・スクール通信の全校圏への配布等により先進事例を紹介		生涯学習部
	2	子どもたちの教育環境の充実をめざした地域住民、保護者との共汗で進める学校統廃合及び新しい学校づくり	・向島秀蓮小中学校創設に向けた取組推進 ・下京雅小中学校統廃合及び橋梅幼稚園新園舎整備に向けた取組推進 ・京北地域小中一貫教育校創設に向けた取組推進 ・紫野小中学校と美只小中学校の統合に向けた取組推進 ・小規模校の保護者、地域への的確な情報提供と論議・検討の促進	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・向島中学校区小中一貫教育校の平成31年4月の開校に向けて、「向島秀蓮小中学校創設協議会」（計4回）開催等による開校準備を推進。 ・下京雅小中学校統廃合及び橋梅幼稚園新園舎整備に向けた取組推進 ・京北地域小中一貫教育校の創設に向けて、「京北地域小中一貫教育校検討協議会」（計4回）開催等による取組推進。 ・紫野小中学校と美只小の平成31年4月の統合に向けて、「紫野小・美只小統合推進委員会」（計3回）開催等による統合準備を推進。		教育環境整備室 学校統廃合推進室
	3	家庭環境に関わらず全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す確かな学力と学習習慣の定着	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を中学校全校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を中学校・小中学校 全校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進		学校指導課
	4	小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づく校区の状況に応じた全中学校区での小中一貫教育の推進。就学前施設と小学校との連携・入学児童の情報共有推進に向けた取組を検討するため、新たにプロジェクトチームを設置し、子ども若者はぐくみ局とも連携しながら調査研究を実施	・全中学校ブロックでの、「目指す子ども像」の共有・実現のための小中一貫教育構想図の作成や軸となる取組・活動の設定など、校区の状況による小中一貫教育の推進 ・就学前施設と小学校との連携・入学児童の情報共有推進に向けた取組を検討するため、新たにプロジェクトチームを設置し、子ども若者はぐくみ局とも連携しながら調査研究を実施 ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた、保幼小接続の推進（スタートカリキュラム）	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・全中学校ブロックでの、「目指す子ども像」の共有・実現のための小中一貫教育構想図の作成や軸となる取組・活動の設定など、校区の状況による小中一貫教育の推進 ・子ども若者はぐくみ局との連携による「就学前施設と小学校との連携・情報共有推進に向けた検討チーム」を設置 ・保幼小接続の推進に向け、「スタートカリキュラム」リリースの全幼稚園・小学校教員への配布やリーフレットを活用した研修等を実施		学校指導課
	5	学校における働き方改革推進、研修と教職員評価による教員の資質・指導力向上	・働き方改革推進校・圏の指定や人的配置の拡大など、学校・幼稚園における働き方改革のより一層の推進 ・校務支援員や部活動指導員等、教員の負担軽減に向けた人的配置の拡大 ・中学校活動ガイドラインの改訂 ・バーコード方式による出退勤管理システムの構築 ・ミドルリーダー層の拡大・養成に向けた研修実施 ・OJT活性化、自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実 ・英語教育や道徳教育、働き方改革等の喫緊の教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・「京都市教員等の資質の向上に関する指針」の活用 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」制度の円滑な実施と教職員の意欲喚起	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・全市の中学校・幼稚園をリードして取り組む推進校・圏を公募方式により指定。全校種で合計40校圏（小28校、中5校、高4校、支1校、幼2）。推進校・圏には希望を勘案して職員を配置。（校務支援員、教務主任補佐） ・校務支援員を36校圏に49人を配置 ・部活動指導員を中学校・高等学校50校に51人を配置 ・専科教育の充実のため、スクールサポーター（非常勤講師）の対象を6年生から5・6年生に拡大し、配置時数を約1.5倍に拡大 ・スポーツ庁及び文化庁が新たに示したガイドラインに基づき、本市の部活動ガイドラインを改訂 ・バーコード方式による出退勤管理システムの構築（開発・試行） ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施 ・「京都市教員等の資質の向上に関する指針」を踏まえた教職員研修計画策定・研修実施 ・「ミドルリーダー」層の拡大と養成に向けた研修等の実施と「京・教育研究・研修マイスター」の活動充実 ・京都市OJT実践ガイドライン（改訂版）を活用した研修等の実施及び学校訪問指導 ・自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実 ・英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実		教職員人事課 総合教育センター
確かな学力の育成	6	新学習指導要領実施に向けた実践研究・環境整備	・「新しい3学期制」のもと、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、新学習指導要領を全小中学校で先行実施 ・「主体的・対話的で深い学び」を指し指す授業改善に向けた実践研究（プログラミング教育などのテーマ研究含む）の推進 ・働き方改革もめめた「カリキュラム・マネジメント」の確立に向けた実践研究の実施 ・教科化を踏まえた道徳教育の充実 ・英語教育の充実に向けたALT（外国語指導助手）の増員、小中学校の各支部への研究拠点校の設置による授業改善研究の推進	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・本市独自に小・中学校全校で新学習指導要領を先行実施 ・対話的で深い学びの実現による授業改善に向けた「カリキュラム・マネジメント」の確立に向け、文部科学省や対話的授業研究指定校の実践や本市研修会を実施 ・道徳の教科化を踏まえ、研究指定校（計48校）を中心とした実践研究の実施や「道徳教育推進リーダー教師」による各地域での自主研修の展開等、全市をあげた研究・実践を推進 ・ALT（外国語指導助手）の6名増員（55名→61名）により、英語授業の充実及び担当教員の負担軽減を図るとともに、国立教育政策研究所や本市独自の小学校（英語実践研究指定校、英語教育推進校）、中学校（英語授業改善研究校）における研究拠点校（計30校）での授業改善等の実践研究を推進		教職員人事課 学校指導課
	7	文化庁の全面的移転決定を契機とした京都ならではのグローバルコミュニケーション力育成と文化芸術活動の推進	・中・高等学校全校での茶道体験など小・中・高等学校全校での伝統文化体験活動の実施 ・小学校全校での小学校外国語（英語）の早期化・教科化等を見据えた取組の推進 ・外部検定試験（英語検定等）の活用による中学・高校生の英語力向上の取組 ・海外研修・留学への支援や日吉ヶ丘高校「英語村」を活用した小中学校や地域との連携の促進 ・京都商工会議所や事業者との連携を図り、市内在住、在学中高生の京都・観光文化検定の受験を促進 ・博物館施設等での体験の充実や平安京創生館の授業等での活用推進	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・全小・中・高等学校で茶道体験等の伝統文化体験活動を実施 ・新学習指導要領の全面実施を見据え、小学校全校において、1～4年生で段階的に外国語活動等を実施するとともに、5～6年生は教科化を見据え授業時数の増加を含めた授業改善を推進 ・受験料を補助し、中学生約4,500名、高校生約500名が英検を受検。また、英語4技能（「聞く」「話す」「書く」）特に「話す」技能の習得に向け、民間検定試験（GTEC）の活用（受験料約1,000名分）は全額公費負担）やALTを活用したパフォーマンス評価等の授業改善研究（計8校）を推進 ・日吉ヶ丘高校「英語村」において、小学校6年生（75名）が夏休休業期間を活用し、ALTと連携とともに英語体験活動を行う「Enjoy English」事業を実施 ・全市高校生全員が茶道体験を含む伝統文化体験活動を実施 ・高等学校において海外研修・留学への支援を実施 ・小学校7校で「平安京創生館」を活用した授業を実施		学校指導課 生涯学習部 生涯学習総合センター
	8	創造的で個性豊かな子どもの育成	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中学校）全校認定 ・学校・家庭・地域が一体となった取組を積極的に推進するための全校・圏独自の「新・環境宣言」策定 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の小中学校全校での実施 ・プラネタリア更新に向けた取組の実施 ・企業家の協力による特別展の実施 ・科学地球儀の設置	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中学校）全校認定 ・「持続可能な社会」の実現に向け、SDGs（持続可能な開発目標）の視点も盛り込んだ、全校・圏独自の「新・環境宣言」の策定 ・こどもエコライフチャレンジ推進事業の小中学校全校での実施 ・中学校選理科での使用教科書を踏まえた環境スタンダードの改訂 ・市海外行政調査団からの提言を踏まえた「みらい地球儀」の設置・公開 ・三洋化成工業株式会社の協力による特別展「はたらく」を化学する。」の開催		学校指導課 青少年科学センター
	9	子どもの読書活動の推進に向けた「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の実施及び次期計画の策定 学校司書の配置拡大等、学校図書館の活用促進	・学校司書の配置数拡大 ・京都市図書館所蔵国書の学校団体貸出の推進（冊数40,000冊以上） ・京都市図書館による出張事業や、タブレット端末型PCの活用など学校図書館の機能充実に向けた取組の実施 ・次期計画の策定に向け、市民や有識者等が参画する策定会議を設置するなど、計画策定に向けた検討を進める。	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・学校司書を全小・中・総合支援学校へ配置及び配置日数（複数日配置校数を17校増）を拡大 ・京都市図書館所蔵国書の学校団体貸出（2.9、4.51冊）やブックトーク、読み聞かせ等の実施、京都市図書館司書による学校司書を対象とした研修の実施 ・市民や有識者等参画のもと「第4次京都市子ども読書活動推進計画策定会議」を設置し、次期計画を策定。		学校指導課 生涯学習部 各図書館
	10	社会的・職業的自立に向けた生き方探究教育の充実 学校での学びを地域・社会の課題解決につなげる社会参画の力や政治的教養を育む教育の推進	・生き方探究教育に係る各種体験学習の小中学校全校実施に向けた実施校の拡大及び生き方探究館開館10周年を機とした各種体験学習の効果検証 ・「政治的教養を育む教育学習指導案集」や園の副読本を活用した発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施 ・地域や社会での貢献活動やボランティア活動の実施 ・学校の議場見学や「京都市親子ふれあい議場見学会（市会事務局が実施）」等、市会事務局との連携による市会を身近に感じる取組の充実	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・スチューデントシティ学習（160校10、328名（該当学年不在の1校及び参加学年移行の4校を除く））、フライングパーク学習（69校6、492名（総合支援学校6校含む））、京都モブづくりの殿堂、工務体学習（162校9、976名（総合支援学校3校含む））、生き方探究・チャレンジ体験推進事業（7校）及び5校を軸にした「京都本移住の推進」の実施 ・「政治的教養を育む教育学習指導案集」を活用した授業、選挙管理委員会事務局や社会保険労務士会等と連携した出前授業、園の副読本を活用した発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施 ・小・中学校29校（約700名）において市会議場見学を実施		学校指導課 生涯学習部 生き方探究館
11	世界文化自由都市宣言40周年を迎え、多文化が息づくまちづくりに向けた国際理解教育と、外国人児童生徒等への日本語指導体制等の充実	・佛国・外国人児童生徒等の受入体制の充実と個の状況に応じた日本語指導の拡充 ・日本語指導担当教員等の指導力向上を図る研修会の充実 ・外国人にルーツをもつ子どもや保護者のための小学校入学前に必要な情報をまとめたリーフレットを作成・配布	はばたけ未来へ！京プラン 実施計画	・夏休休業期間中に多文化共生社会の実現に資する研修会を実施。 ・日本語指導担当教員研修会の運用を進め、佛国・外国人児童生徒等に対する迅速かつ的確な受入体制の構築及び多文化共生社会の実現に向けた研修会の推進。 ・日本語指導担当教員等に対して、「日本語指導担当教員指導力向上セミナー」年間7回実施するなど、指導力向上に係る取組を実施。 ・学校のスケジュールや、生活習慣、用意する持ち物等の説明のため、3か国語対応の「日本語を母語としない保護者のための小学校生活スタートガイド」を作成、配布。		学校指導課	

基本方針・重点方針		平成30年度重点取組					
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
心身ともに健全でたくましい子どもの育成/いのちを守り切る取組の推進	12	道徳の教科化を踏まえた道徳教育の充実や体験活動の推進等、子どもの規範意識を育む取組の推進	・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全校級での公開授業（保護者参加型） ・全48校の研究指定校を中心とした教科化を踏まえた実践研究の実施や「道徳教育推進リーダー教師」による各地域での自主研修の展開等、全市をあげた研究・実践の推進 ・中学校「特別の教科 道徳」教科書採択と指導計画の作成・配布 ・パンフレット「考え、議論する道徳を指して」及び「特別の教科 道徳 評価について」を活用した、授業改善や評価に関する実践、教員研修の充実 ・中学校の生徒会活動、小中学校児童会活動の活性化 ・長期宿泊・自然体験推進事業の全小中学校での実施 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全校級での公開授業の実施 ・全48校の研究指定校を中心とした教科化を踏まえた実践研究の実施や「道徳教育推進リーダー教師」による各地域での自主研修の展開等、全市をあげた研究・実践の推進 ・中学校「特別の教科 道徳」教科書採択と指導計画の作成・配布 ・パンフレット「考え、議論する道徳を指して」及び「特別の教科 道徳 評価について」を活用した、授業改善や評価に関する実践、教員研修の充実 ・中学校の生徒会活動、小中学校児童会活動の活性化 ・長期宿泊・自然体験推進事業を全市163校で実施。 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施		学校指導課 生徒指導課 花青山の家
	13	いじめ、不登校の未然防止と早期発見・解決に向けた取組の充実	・学校いじめの防止等基本方針の策定 ・京都市いじめの防止等取組指針や登校支援ハンドブックを踏まえた取組の推進 ・SNSを活用した相談窓口の構築に向けた検討 ・全校設置のスクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を拡充 ・スクールソーシャルワーカーの配置校拡大(51校)による体制の充実 ・教員が学級実施をより適切に把握するためのクラスマネジメントシートの活用 ・「ふれあいの社」や洛風・洛友中学校等、不登校を経験した子どもの学びと育ちを支える活動の展開	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・「京都市いじめの防止等取組指針」の推進 ・「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」を年2回（30年10月、31年3月）実施 ・国の新たな動向も踏まえ、一人一人の不登校児童生徒に応じた適切な支援のために作成された登校支援ハンドブックを活用し、校内研修や不登校の未然防止等、各校における登校支援の充実に向けた取組を実施。 ・スクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を計129校（29年度は104校）に拡充 ・スクールソーシャルワーカーの配置校を51校（29年度は40校）に拡大 ・小中学校各でクラスマネジメントシートを実施 ・洛友中学校の夜間部で、不登校等の事情で実質的に義務教育を十分に受けることのできないまま中学校を卒業した者（形式卒業者）を受け入れ ・「ふれあいの社」、洛風・洛友中学校における教育活動の実施		生徒指導課 体育相談センター
	14	学校・地域・保護者・関係機関等との連携による薬物乱用防止教育の徹底や、ケータイ、スマートフォン、携帯ゲーム機等、携帯情報通信機器の不適切利用防止対策の推進	・小・中・高等学校全校における薬物乱用防止教室、薬物乱用防止にかかる教職員研修の実施 ・青少年健全育成団体と学校・地域・家庭が連携した薬物乱用防止のための研修会や啓発活動の実施 ・児童向けスマホ学習「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあひ方」の充実 ・携帯電話事業者との連携による「ケータイ教室」の実施 ・京都市情報モラル市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施 ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」の実施	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・小・中・小中・高等学校全校における薬物乱用防止教室の実施及び薬物乱用防止に係る教職員研修の実施 ・緊急委員会開催「薬物ダメ、ゼッタイ」緊急メッセージの发出（10月、3月） ・小学校、小中学校（前期課程）保護者用啓発誌本「薬物乱用は「ダメ、ゼッタイ。」子供たちを薬物乱用から守るために」の配布（12月） ・「高校生予定者のみならず薬物乱用の危険を理解していますか？」の配布（12月） ・「高校生自ら考える薬物乱用防止プロジェクトin京都」を開催（11月） ・児童向けスマホ学習「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあひ方」（携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム）の実施（84校 7034人） ・京都市情報モラル市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施（64回2448人） ・携帯電話事業者との連携による「ケータイ教室」を実施（129校） ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」を実施		生徒指導課 体育健康教育部 生涯学習部
	15	「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた食育・健康教育、体力向上の取組・運動部活動の充実、安全・防災教育の推進	・スチームコンベクションオープン校の全校導入（5ヶ年計画・2ヶ年目）による給食の充実 ・京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策の推進 ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組 ・水泳指導をはじめ教育活動における安全対策の徹底 「ジャンプアッププロジェクト」をはじめ子どもの体力向上を旨とした取組の実施 ・中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業及び部活動指導員の積極的な活用 ・自転車交通安全教育の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・スチームコンベクションオープン校の全小学校導入（2年目/5年計画）を進め、新たに29校にスチームコンベクションオープンの設置 ・「京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策の推進 ・自転車交通安全教育の充実（中学校における自転車交通安全教材の作成） ・水泳指導をはじめ教育活動における安全対策の徹底 ・「ジャンプアッププロジェクト」をはじめ子どもの体力向上を旨とした取組の実施 ・中・高等学校の運動部活動における部活動指導員及び外部コーチ派遣事業の積極的な活用 外部コーチの派遣…中学校（62校・158名）、高等学校（6校・26名） 部活動指導員の配置…中学校（44校・45名）、高等学校（6校・6名） ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組（通学路上のブロック対策（乗込点）含む）		体育健康教育部
	16	障害のある子どもへの教育の推進	・きめ細かな就学相談の実施 ・「就学支援シート」事業の推進 ・呉竹総合支援学校再整備等の総合支援学校増収増容対策 ・新学習指導要領の円滑な実施に向けた取組の推進 ・地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 ・総合支援学校生徒の実習先企業数の拡大 ・LD等過級指導教室で指導を受けている児童生徒数の拡大 ・手話に関する理解促進 ・高等学校における通級による指導の実施をはじめLD等支援の必要な生徒への指導・支援の充実 ・障害者芸術・障害者スポーツ等の障害者の生涯学習の推進	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・京都市就学支援委員会審議件数（29年度：2,191件、30年度：2,377件） ・「就学支援シート」提出数（29年度：1,131枚、30年度：1,196枚） ・呉竹総合支援学校の再整備に向け、基本計画を策定。 ・総合支援学校増収増容対策を完成 ・東山総合支援学校を中心とした、地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 ・総合支援学校生徒の実習先企業数（29年度：311社、30年度：323社〔速報値〕） ・LD等過級指導教室で指導を受けている児童生徒数（対象 29年度：923名、30年度1,062名） ・手話事例の趣旨や、身近に使える手話等を紹介した児童、生徒向けのリーフレットを作成、小学4年生及び新規採用教員に対して配布、学校でよく取られる曲や、学校生活の中で日常的によくある場面等を手話で表現したビデオ教材や、手話学習のヒントとなる「モデル授業」のビデオ教材を作成し、学校における取組を促した。 ・伏見工業高校定時制において、通級による指導を開始するとともに、その他の学校においても、新たに設置した「高校過級特別支援チーム」が、巡回相談・指導を実施し、高等学校における総合支援教育を充実。 ・NP0の法人障害者芸術推進研究機構（天オアートKYOOTO）と協働し、総合支援学校に専門家を派遣し、創作アート活動を推進。		総合育成支援課
魅力あふれる市立高校づくり	17	進路希望の実現を目指す特色ある高校づくり、「新しい定時制単独高校」の創設や「新しい普通科系高校」の創設に向けた取組、飼肥美術工芸高校の移転整備など市立高校改革の推進	・各市立高校における魅力あふれる教育の推進 ・「新しい定時制単独高校」創設に向けた施設整備、教育内容の検討 ・「新しい普通科系高校」創設に向けた基本設計・実施設計の着手、教育内容の検討 ・飼肥美術工芸高校の移転整備に向けた基本設計・実施設計の着手	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・普通科系6校・4年制大学現役進学率68.0%、工業系高校1校（全日制）：学校幹部就職内定率100%（17年連続） ・「新しい定時制単独高校」の創設に向けた取組の推進（基本設計・実施設計の策定、「新定時制単独高校の創設に係る閉校準備チーム」におけるワーキンググループ「まとの」の具体化に向けた検討） ・「新しい普通科系高校」創設に向けた取組の推進（基本設計・実施設計の着手、「まとの」の具体化に向けた検討） ・飼肥美術工芸高校の移転整備に向けた取組の推進（基本設計の策定・公表、実施設計の着手）		学校指導課
子育て支援の充実	18	子育て環境の一層の充実に向けた市立幼稚園での預かり保育の充実や、子ども若者はかくみ局との連携	・市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実 ・先進的な教育研究実践成果の私立幼稚園を含めた全市への発信など、はぐくみ局との連携による幼児教育・保育の質の向上、量の拡大	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実 ・公開保育や研究発表により、各市立幼稚園での教育研究実践成果を保育園や私立幼稚園等へ発信		学校指導課 生涯学習部
子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備	19	環境と防災に配慮した学校施設、施設整備事業の計画的な推進	・体育館リニューアル事業・工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・体育館改築事業・工事着手（1校）、設計の実施（1校） ・プールリニューアル事業・工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校舎長寿命化事業・工事着手（3校） ・学校施設マネジメントの推進：構造躯体の健全性調査を実施	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・体育館リニューアル事業・工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・体育館改築事業・工事着手（1校）、設計の実施（1校） ・プールリニューアル事業・工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校舎長寿命化事業・工事着手（3校） ・学校施設マネジメントの推進：構造躯体の健全性調査を実施 ・ブロック塀の改修（95校箇）		教育環境整備室
	20	学校図書館のリニューアル、学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	・市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（44校） ・快適トイレの整備（12校） ・洋式トイレの整備（4校） ・快適トイレ及び洋式トイレの整備（2校）	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・市内産木材を活用した学校図書館の整備（99校） ・快適トイレの整備（14校） ・洋式トイレの整備（6校）		教育環境整備室 学校指導課
21	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築と市立図書館の更なる利便性の向上	・生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実 ・博物館や大学等との連携による多様な学習機会の提供、充実 ・図書館の貸出冊数、利用者数の増 ・図書館環境の整備 ・録音図書データの提供など視覚に障害のある方々の更なる利便性の向上	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実（施設・団体情報アップデート、SNSを活用した情報発信等） ・京都市図書館における貸出冊数759万冊、利用者数411万人 ・夏休み（8月7日～8月7日）の期間中、貸出冊数（19万7,758冊） ・京都府立図書館との相互返却・返却資料予約サービス>本格実施 ・サビエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）のサールズ提供の継続		生涯学習部 総合センター 各図書館	

生涯学習の推進	22	日本初の開催となる「国際博物館会議（I COM）京都大会2019」の成功に向けた取組	・市民が博物館や美術館に親しむための魅力あるイベントの企画や、多言語化・Wi-Fi導入の促進、関係団体との連携等、大会成功に向けた取組の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・I COM京都大会ブレイバントの実施 1) 「ミュージアム・プレミアイベント」 2) 「明治150年記念『明治』デジタル・スタンプラリー」 3) 「ミュージアムキッズ！全国フェア京都大会」 4) 「国際博物館会議（I COM）京都大会開催記念原田マハさん講演会『風神雷神 バリへ行く』」 5) 「城、絵巻さん京都市内博物館・美術館視察企画」 6) 「京都誕舞きミュージアム巡り」 ・博物館・美術館向け Wi-Fi設置事業の実施 ・博物館・美術館向け 多言語化対応研修会の実施 	生涯学習部
	23	文化庁の全面的移転決定 明治維新150年、平成31年の番組小学校150周年を契機とした京都の教育の歴史と文化力、地域力の一層の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校歴史博物館開館20周年・明治150年（H30）記念イベントの実施、番組小学校創設150周年（H31）の節目に向けたブレイバント、情報発信の充実・強化 ・中学校総合文化祭における美術・新聞・社会等の各部門での明治維新150年に関連づけた調べ学習や創作・創造活動の実施 ・鋼陀美術工芸高校所蔵作品展の開催（明治維新150年関連） ・明治時代の史跡を巡る「『京都歴史カルロード』マップ（明治編）」の制作・活用 ・歌唱とリードオルガンで綴る「明治のこころ」の実施 ・特別展示「宮廷社会の食文化」の実施 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学校歴史博物館開館20周年・明治150年（H30）記念イベントとして企画展・講演会等の実施、番組小学校創設150年記念特別テレビ番組の放送、情報発信の充実・強化 ・中学校総合文化祭における美術・新聞・社会等の各部門での明治維新150年に関連付けた調べ学習や創作・創造活動の実施 ・鋼陀美術工芸高校所蔵作品展の開催（明治維新150年関連）（来場者：約650名） ・明治時代の史跡を巡る「『京都歴史カルロード』マップ（明治編）」の制作・活用 ・歌唱とリードオルガンで綴る「明治のこころ」の実施 ・特別展示「宮廷社会の食文化」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校指導課 生涯学習部 学校歴史博物館